

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【公表番号】特表 2018-527030 (P2018-527030A)

【公表日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2018-534009 (P2018-534009)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 P 19/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/12

C 0 7 K 14/47 Z N A

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 38/17

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/18

A 6 1 P 19/00

A 6 1 P 19/02

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 3 日 (2019.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) その C 末端に切断部位を含むプレ配列であって、その N 末端にアミノ酸 M A T T X 1 T、M A T T X 1 T G、M A T T X 1 T G N、M A T T X 1 T G N S または M A T T X 1 T G N S A を含み、X 1 は、L または S であるプレ配列と、

b) C D - R A P またはその多様体であって、該多様体が配列番号 1 の配列に対して

少なくとも95%の配列同一性を有する、CD-RAPまたはその多様体とを含む、CD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項2】

前記プレ配列は、そのN末端にアミノ酸MAT TST、MAT TST G、MAT TST GN、MAT TST GNSもしくはMAT TST GNS Aまたはそれらの多様体を含む、請求項1に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項3】

前記プレ配列は、5～50のアミノ酸の長さを有し、特に6～35のアミノ酸の長さを有する、請求項1または2に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項4】

前記前駆体タンパク質は、KyteおよびDoolittleによるハイドロパシーの総平均(GRAVY)-0.03未満を有し、かつ/または前記プレ配列は、KyteおよびDoolittleによるハイドロパシーの総平均(GRAVY)-0.2未満を有する、請求項1から3までのいずれか1項に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項5】

前記切断部位は、酵素切断部位であり、特にエンドペプチダーゼ切断部位であり、特にエンテロキナーゼ切断部位であるか、または混合求核体スーパーファミリーA(PA clan)プロテアーゼ切断部位であり、特にRアミノ酸またはKアミノ酸である、請求項1から4までのいずれか1項に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項6】

前記エンドペプチダーゼは、システインプロテアーゼおよびセリンプロテアーゼからなる群から選択され、好ましくはトリプシンまたはキモトリプシンであり、より好ましくはトリプシンである、請求項5に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項7】

前記プレ配列は、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号6、配列番号7、配列番号8、配列番号9、配列番号10、配列番号11、配列番号12、配列番号13、配列番号14、配列番号15、配列番号16、配列番号17、配列番号18、配列番号19からなる群から選択されるアミノ酸配列もしくはその多様体を含むか、または該アミノ酸配列もしくはその多様体からなる、請求項1から6までのいずれか1項に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項8】

前記前駆体タンパク質は、配列番号20によるアミノ酸配列もしくはその多様体を含むか、または該アミノ酸配列もしくはその多様体からなる、請求項1から7までのいずれか1項に記載のCD-RAP前駆体タンパク質。

【請求項9】

請求項1から8までのいずれか1項に記載の前駆体CD-RAPタンパク質をコードする核酸。

【請求項10】

請求項9に記載の核酸を含有するベクター。

【請求項11】

請求項1から8までのいずれか1項に記載の前駆体CD-RAPタンパク質、請求項9に記載の核酸または請求項10に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項12】

ネイティブCD-RAPの製造方法であって、

a) 請求項1から8までのいずれか1項に記載のCD-RAP前駆体タンパク質を提供するステップと、

b) 前記プレ配列を除去してネイティブCD-RAPを取得するステップとを含む方法。

【請求項13】

以下：

c) 前記CD-RAP前駆体タンパク質のフォールディングを行い、適宜、前記フォールディング済みのCD-RAPを精製するステップと、

d) 前記ネイティブCD-RAPを精製するステップと

のうちの1つまたは複数をさらに含む、請求項12に記載の方法。

**【請求項14】**

ステップb)において前記プレ配列を除去する前かまたはその後に、特にステップb)において前記プレ配列を除去する前に、ステップc)においてCD-RAPのフォールディングを行う、請求項12または13に記載の方法。

**【請求項15】**

ステップb)において、前記プレ配列を、酵素による切断によって除去し、特にエンテロキナーゼによる切断によって、またはエンドペプチダーゼによる切断によって、特にトリプシンによる切断によって除去する、請求項12から14までのいずれか1項に記載の方法。